日中友好新聞
府連通信
2020年２月号
日本中国友好協会
大阪府連合会
〒530-0013
大阪市北区
芝田2-3-19
東洋ビル本館207
TEL06-6372-8131
FAX06-6372-8132
郵便振替口座
00970-5-8978
E-mail:info
@jcfaosaka.org
ホームページ
http://
jcfaosaka.org/

第８回中国百科検定　申込は20日まで
自由学習スペース　日中カフェオープン

第８回中国百科検定の申込みが始まっています。中国百科検定受験のみなさんのための自由学習スペース、「百科検定・日中カフェ」をオープンしました。

中国百科検定での合格めざしテキスト、問題集に取り組んでいる方のための学習の場として、左記日程で各種講座と「百科検定・日中カフェ」をオープンしました。

自習を基本にしながらも、受験者がお互いに勉強の仕方や、体験を交流する場としてご利用ください。開設時間内なら都合のいい時間に自由に利用できます。

会場では本部・府連のホームページ「百科検定」欄学習会配布資料の閲覧ができます。

お茶、お菓子のサービスがあります。そのほかご要望は「日中カフェ」担当者にご相談ください。

中国百科検定試験　各種講座のご案内

２月２４日（祝）歴史教養講座「面白く中国史を学ぶ・古代篇」
国労会館　１４：００～１６：３０
講師；浜野　滋（特級全科目修了・マスター資格）

２月２６日（水）地理・民族・世界遺産直前対策講座（３級～２級中心）府連事務所２０５号室　１４：００～１６：００
講師；西脇義彦（府連常任理事・老師資格）

３月１１日（水）歴史直前対策講座（３級～２級中心）
府連事務所２０５号室　１４：００～１６：３０
講師；浜野　滋

３月１６日（月）文化直前対策講座（３級～２級中心）
府連事務所３０５号室　１８：００～２０：３０
講師；高田佳誉子（老師資格、マスター挑戦）

３月１８日（水）政法経直前対策講座（３級～１級）
府連２０５号室　１４：００～１７：００講師；山本恒人

中国百科検定・日中カフェ（自由学習スペース）
２月１９日（水）１４：００～１７：００（２０５号室）
３月１５日（日）１０：３０～２０：００（２０５号室）

お問い合わせ・申し込みは日中府連事務局まで

大西広さんを迎えて　国際問題講演会
中国は何をめざしているか

１月18日、大阪市内で大阪ALA合格で、金持ちには不合格、ALAと日中大阪府連の共催で、だし、習近平は努力しているが大西広慶応大教授を講師に迎え富裕層の抵抗に遭っている。国際問題講演会を開きました。「超大国化」の過程にある対外中国の国際的影響力が大きくなり、習近平政権の内政や外交に関心が高まって１４０名の参加者は熱心に聞き入っていました。

講演者の大西教授は、中国国内の経済学者との交流が深く、内政にも外交にも非常に通じた方で、習近平政権と今後の国際関係をどう見るか「中国は何をめざしているか」をテーマに講演されました。

中国の内政については、貧乏人への対策は政策には、民衆の間で拡がる大国意識に政府もひきずられていると述べました。

香港での暴力デモは運動の破壊者で、真の敵は香港財界だと指摘、評価基準としての「内政不干渉」について、若手活動家が全米民主主義基金から支援を受けていることは容認できないと、香港での現地調査の詳しい報告がありました。

天芝で大阪春節祭　新型肺炎患者急増

１月25日から27日、天王寺公園「てんしば」で第４回大阪春節祭が開催され、旧正月を祝うため、ステージの演奏やグルメショッピングを楽しんでいました。

ステージは帰国者の皆さんの「ヤンコー踊り」でスタート、「獅子舞」や「龍舞」京劇、二胡演奏、変面など多彩な舞台を楽しみました。

会場には中国各地の餃子や豚まん、ワンタン、羊肉などの郷土料理の店が並んでいました。

中国の湖北省武漢市を中心に新型コロナウイルスによる肺炎が広がり、世界経済に暗い影を落とし始めています。

中国政府は湖北省武漢市を封鎖し、団体旅行の禁止など厳しい措置を取っており、長引けば世界の景気を押し下げる恐れがあります。中国本土の死者は、７日現在600人を超えたと発表した。２００２～03年に流行した重症急性呼吸器症候群（ＳＡＲＡ）での中国本土の死者349人を上回りました。また、感染者は計３万人を超え、さらに２万４千人以上に感染の疑いがあるといわれています。

守口太極拳新春初けいこ

１月13日（成人の日）大阪府守口市民体育館で、守口太極拳班主催の太極拳新春初けいこを行いました。８教室及びサークルから56名の参加で、大阪府連松尾豊理事長のメッセージを披露した後、ウルトラ初級24式、簡化24式、48式、陳式簡化36式太極拳の四種目に分かれて練習しました。

お昼をはさんで午後は練習の続きと成果発表会です。圧巻は48式クラスです。この日が48式太極拳初年初の行事を楽しく無事に終えました。

（内藤正博）

体験という方が４人、経験者のみなさんと一緒に48式套路を通していました。（拍手）

また、この日のメニューにはない五歩拳、長拳一路、棍術、陳式56式なども成果発表会では表演され、予定時間を超えてしまうほどでした。

そして日程の締めくくりは恒例のお年玉抽選会です。昨年に続いて二年連続で当った方、10数年参加して初めて当った方、みなさん嬉々として大盛り上がりでした。

本部が支援を訴え

「新型肺炎」の感染が日に日に広がり、ＷＨＯが「緊急事態」を宣言するに至りました。国を挙げて闘っている中国を支援するため、協会本部は大使館や中日友好協会のルートで、支援物資を中国の関係機関に送る手配を始めています。

連合会・支部でも、友好都市提携を結んでいる自治体と連携しての支援などが始められています。全国の会員の皆さんからも「支援したい」との声が寄せられています。

協会本部は支援物資の提供を呼びかけています。連合会・支部として、また会員の皆さんに呼びかけ集めるなどして、支援物資マスクや消毒用アルコールを本部にお送るよう要請しています。

府連初けいこ

１月５日の北スポーツ初稽古に、８地域10教室46名の参加者は、午前中の短い時間でしたが、やはり交流しながら学んでいくのは大切です。練習を見ていても最初ぎこちなかったのが、お互いに影響しあいながらだんだんよくなっていく、とてもいい初稽古でした。

来年は太極拳普及45周年、東京武道館の交流大会に向け、直接参加する人も参加しない人も楽しめる企画を進め、成功に向けて取り組みを強めましょう！

開講中の太極拳教室
府連教室　月曜６時半
国労会館
西支部教室　木曜６時半
北スポーツ第２体育館
守口は11教室開講中

第二回上映会「活（い）きる・活着」
青年と女性部の中国映画を観る会

昨年、日中友好新聞10月15日号の一面に、大変光栄な記事が掲載されました。府連女性部が２０１７年６月に再建したことが全国の先駆けとなり、全国各地で「女性部」が次々誕生しているといううれしい内容でした。

府連女性部も３年目を迎え新たな気持ちで、楽しい企画や学習の場で女性会員の活躍・交流の場を広めていく１年にしたいと思います。

昨秋には、青年たちと女性部共催で中国映画を観る会を実施し好評を得ました。今年はこの映画会を定例化していこうと新たに「青年と女性部の中国映画を観る会」として年に２回程度鑑賞会を計画しています。女性会員はもちろん男性会員や会員外の方にも観ていただけるよう宣伝していきたいと思います

また、学習の分野では長谷川テルの顕彰活動への協力とともに、新女性会員で「伊田助男」についての調査を進めている方からお話を聞き交流していく予定です。（浅田美奈子）

青年と女性部の映画会

＊映画名「活きる　いきる」
チャン・イーモウ監督
＊４月18日（土）１時半上映
（開場　13：00）
＊国労会館（ＪＲ天満駅下車）
＊資料代　５００円
＊定員　40人（申し込み制・先着順となります。）
主催　日中友好協会大阪府連
青年と女性部の
中国映画を観る会

前田尋　冬景きり絵展

２月３日から８日北区マサゴ画廊で、前田尋「冬景きり絵」展が開催され、画廊正面に80号Ｍサイズの大作「暮れる伊庭内湖」が展示されていました。白黒のふりしきる雪景色の４点の作品や、椿など花の小品も展示されていました。

吹田支部きりえ同好会
月２回講座を開く

日中吹田支部は２０１０年10月きりえ同好会を立ち上げ、内本町コミュニティセンターで月２回講座を開いています。

講師は近藤好幸さんにお願いし、中心メンバーは当初からの５名を含めて９名で頑張っています。会場主催の「コミセンまつり」が年１回６月にあり、出品することを目標に作品作りをしています。一人ひとりの個性が光る作品に出合える楽しみがあります。１月から新しい入会者も２名有り、仲間が増えるとうれしいです。

堺支部　日中友好は民間友好団体が力に
堺市国際課となごやかに懇談

１月30日堺市役所で堺市国際課の永野課長・韓係長と懇談会を行いました。堺支部から石谷市会議員・浅田支部長・田丸副支部長・城副支部長・石井副支部長・上村事務局長・藤田事務局次長・大町さん・田中さん９名が参加しました。

はじめに浅田支部長から堺の大仙公園「日中友好庭園」・津久野「遣唐のひばり碑」、大阪の道修町「少彦名神社」、天保山「日中友好碑」など中国の歴史交流調査活動、「満蒙開拓青年義勇隊」「日本軍毒ガス遺棄問題」などの市民公開講座、「平和のための戦争展」などの取り組みについて説明しました。さらに、藤田事務局次長が「日中友好庭園」での日中友好の文化行事や季節行事等の検討、姉妹都市連雲港と世界遺産登録された堺の大仙公園を活かした取り組み、また、石井副支部長が新しくオープンしたフェニーチェ堺での日中友好文化行事企画、堺で活躍した「加藤義明氏のきり絵作品」の寄贈受け入れ、堺市と歴史交流が盛んであった中国福建省の各都市との文化交流や姉妹都市計画検討、そして、藤田事務局次長が新型コロナウイルスの脅威的な流行について、人類とウイルスのたたかい、英知あつめ予防・治療に取り組まなければならないと思いを語りました。

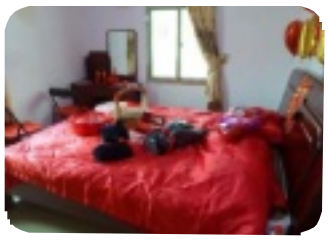
永野課長からは積極的に要望を受け入れて各機関に働きかけていること、日中友好は民間友好団体が力になること、新型コロナウイルスにともにたたかっていくことなど和やかな懇談会になりました。参加者の田中さんが新加入しました。（上村康夫）

中国南部の結婚祝賀会に参加
中国最新報告⑧福建省厦門と福州を訪ねて

中国で結婚祝賀会に招待され参加したのは、今回で７回目、いずれも福建省南部の地域である。真っ赤な中国服が良く似合う花嫁さんに鮮やかな純金の指輪やネックレスを見せてもらう。私たちに家族を紹介。そのあと、新婚夫婦のベッドルームを案内してもらう。中国では参加者に新婚の寝室を披露するのはごく普通です。

ベッドの色調は真紅。そのベッドの周りで、みんなで記念写真を撮り、お話を楽しむ。花嫁さんは、深夜の２時ごろ実家を車で出発。夫の家に早朝５時ごろ到着。そして、家にある観音像の前で、朝７時から仏教式の結婚儀式を行ったという。聞くとこの近辺はみな仏教徒だとのこと。その後、祝賀会に案内される。　家の前の広場に設置された赤いテントが会場。テントの大きさは教室一つ分ぐらいだろうか。そのようなテントが二つぐらい並ぶ。テントの下に大きな丸いテーブルが15～20ぐらい並ぶ。２００～２５０人ぐらいの参加で、ただし、これは昼の部。夜も同じように祝賀会があるというから驚き。親戚や知人・友人だけでなく村人みんなを招待するという。昼夜合わせて総勢５００人以上の祝賀会で、花嫁と花婿のみが正装で参加者の服装はほぼ普段着。

村の結婚式特設会場



祝賀会では、新婚夫婦の紹介やスピーチ・歌もなく、食事と会話を楽しむ。タケノコ料理やロブスターのスープ煮、ウナギのかば焼き、牛肉の料理など美味しい料理が次々と出てくる。

私たちのテーブルは、ビールで乾杯！見るとビールやワインなどアルコールを飲むテーブルはほとんどない。みな、コーラかジュースを飲む。大変気楽で存分に食べて話し交流できるのが良い。２時間ぐらいで宴は終了。別れを告げて、車で厦門まで送ってもらった。（浅田勝美）

４月から中国語講座

今、中国語に対する関心は、ビジネスや交流を深めるうえで、ますます高まってきており、重要な外国語になってきています。

４月６日（月）から第112期中国語講座が開講されます。

中国語の学習をさらに深められることをお勧めします。

個人レッスンもあります。

受講料　週１回（６ケ月20回）　４８，０００円
入学金　１８，０００円

入門レッスンご案内

第１回　３月31日（火）
10：00～11：30
第２回　４月２日（木）
18：30～20：00
第３回　４月４日（土）
10：00～11：30
参加費無料（定員各回14名）

アジアから問われる
日本の戦争展

加害があるから被害がある、そのどちらかだけを語るわけにはいかない。そのことをこのクニに生きる人には忘れてほしくないと、５月４日～５日エルおおさか７階と９階で戦争展を開催します。団体賛同募金は１口３０００円、個人賛同募金は１口５００円です。堺支部と大阪府連が出展の予定。

写真は昨年の戦争展です。